

臨床研究へのご参加のお願い

この研究は、高血圧および糖尿病を有する慢性腎臓病（CKD）患者において、エサキセレノンとフィネレノンの腎機能保護効果を尿アルブミンの排泄低下効果を指標に検討することを目的としています。

学術部では、横浜市立大学・倫理委員会での申請を計画しており、9月より研究開始予定です。開業医団体より新たなエビデンスの発信を目指して、先生方のご協力をお願い申し上げます。ご興味のある方・ご協力いただける方はお電話にてご連絡をお願いいたします。まずは資料をお送りいたします。

【研究課題名】「非ステロイド性アルドステロン受容体拮抗薬フィネレノンとエサキセレノンの高血圧・2型糖尿病合併慢性腎臓病患者に対する腎保護効果—神奈川県における多施設共同後ろ向き前向きコホート研究—（SAFE-K研究）」

【研究期間】研究機関の長の実施許可日～2028年9月30日

【予定登録期間】研究機関の長の実施許可日～2027年3月31日

【募集期間】9月の研究開始より前まで

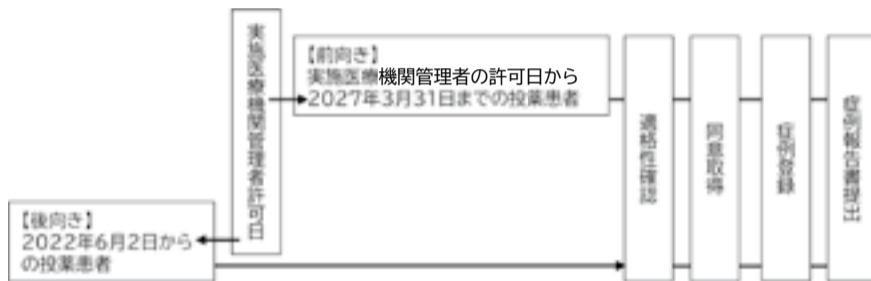
【研究概要（対象患者・方法）】

<対象患者>

エサキセレノン又はフィネレノンを新規に投与した高血圧・2型糖尿病合併CKD患者

<方法>

薬剤投与開始日をベースライン（登録日）とし、3・6・12カ月の各データを収集し、エサキセレノンとフィネレノンの治療効果（腎保護効果）を評価する。研究参加医療機関は、症例報告書を電子メールまたはFAXで協会事務局に提出する。



*お問い合わせは学術部まで（TEL 045 - 313 - 2111）

FAXニュースのメール配信始めました！

神奈川県保険医協会では、保険医新聞やホームページなどで日々多くの情報をお届けしております。またその都度周知が必要なものについては、【FAXニュース】として会員医療機関にお送りしています。近年“FAXニュースの送付先を、メールにしてもらえないか”とのご要望をいただいておりますので、メールによるニュースの配信を開始することといたしました。

メール配信を希望される会員につきましては左下のQRコードから送付希望のメールアドレスをフォームにご入力いただき、送信ください。また“FAXが届かない”等のお問合せについては、右下のQRコードからお願いいたします。

【ご注意】

- ・医療機関の代表名義または会員名義としてのメールアドレスをご入力ください。明らかに会員以外の個人名義のアドレスはお断りさせていただきます。
 - ・メールにてお申込みいただいた場合、メールが不達の場合でもFAXの方は届かなくなります。
- ※両方送付することはできませんのでご了承ください。



メール配信の希望はこちらから



FAX不達のお問合せはこちらから

お母さん

ひとりで悩まないで

～子育てに不安を感じたら～



神奈川県保険医協会
2024年5月発行

ひとりでは抱えこまないで

子育てをしながら、こどもに否定的な感情を抱くことはありませんか？

- 泣きやんでくれないとき
- なかなか言うことを聞いてくれないとき など…

どんな親でも、悩みやストレスを抱えるものです。あなたのそばに信頼できる先輩や仲間がいれば、たいいことは乗り越えることができます。

でも、少子化・核家族化が進む社会では、子育てに不安や戸惑いを感じる方は増えています。

例えばこんなことも影響します。

- パートナーが非協力的、仲がうまくいっていない
- 身近に頼れる親族や仲間がいない
- 経済的な不安がある
- 「あれもこれもやらなくちゃ」と頭がいっぱい
- こどもへの愛情の注ぎ方が分からない

これらは一例ですが、こうしたことが重なると、こどもにつらくあたってしまう、育児を投げ出してしまふことが起ります。また、育てる側だけに原因があるとは限らないこともあります。

「こどもにつらくあたってしまう」

「育児が辛い…」

こんなモヤモヤを、ひとりで抱えこんでいませんか？
少しでも、吐き出してみませんか？



タイトルの「お母さんひとりで悩まないで」は関心を引くフレーズとして採用していますが、配布は母親に限定していません。

手に取りやすいB5三つ折サイズです。相談を促すコラムも掲載しています。

児童虐待防止へ 医療機関の第一歩

子育て支援リーフレット 注文無料で受付中

子育て中の保護者が抱える育児不安・ストレスの悩みを相談できるきっかけをつくるリーフレットです。

孤立し育児に悩む保護者が行政や支援へと繋がるよう、地域の相談窓口を多数掲載しています。

相談を促すコラムや、温かみのある雰囲気イラストを用い、手に取りやすいサイズ感（B5三つ折り）となっています。

かねてより、子どもを巡る痛ましい事件が後を絶たず、当協会では2004年から開業医師・開業歯科医師としてできる児童虐待予防対策に取り組んできました。▽診察室で気になる親子に渡す、▽待合室やお手洗いに設置のほか、▽出産を控えた妊婦に渡す資料に加えている先生も。県内全域に広がる会員が、本リーフレットを活用し、あの手この手で児童虐待を防ぐきっかけを作っています。

注文無料・地域医療対策部までお問合せください（TEL 045 - 313 - 2111）。



《掲載している相談窓口》

- ・神奈川県内の市区町村の保健福祉センター等の子育て相談窓口
- ・児童相談所相談専用ダイヤル
- ・こどもの相談窓口 チャイルドライン